

(令和元年8月1日以降適用)

注 意 事 項

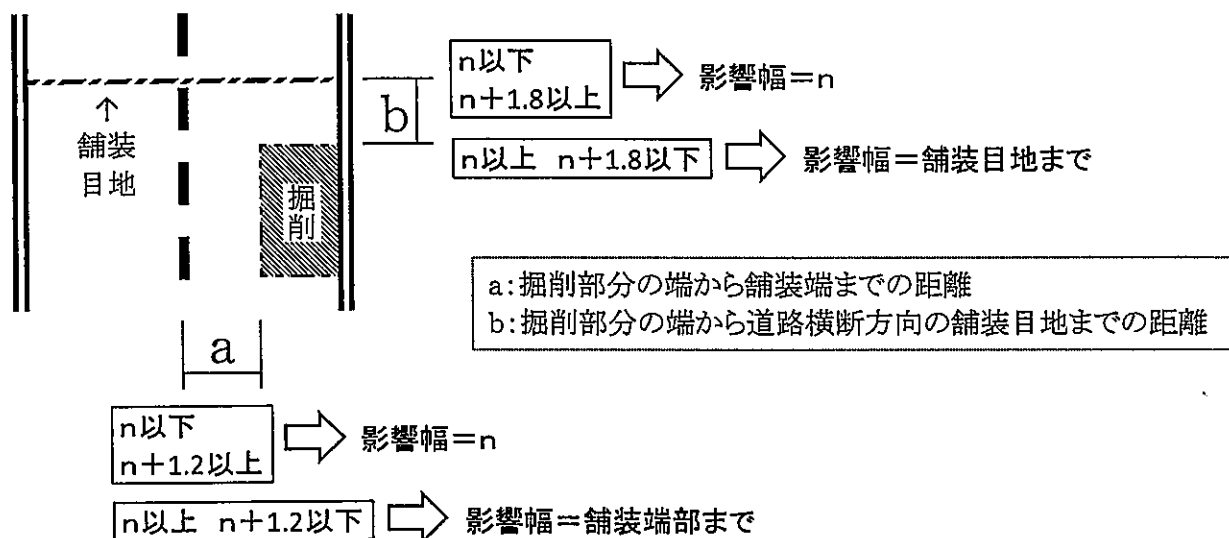
1. 使用材料については、同等の再生材の利用も可能とする。(申請図面にその旨表示すること。)
2. 掘削部分の端から舗装端部(舗装目地)までの距離が下表の範囲内の場合は、**舗装端部(舗装目地)までを影響幅とする。**

区分 断面図	【a】 掘削部分の端から 舗装端までの距離	【b】 掘削部分の端から道路横断 方向の舗装目地までの距離
標準断面図A	0.5m以上 1.7m以下	0.5m以上 2.3m以下
標準断面図B	0.4m以上 1.6m以下	0.4m以上 2.2m以下
標準断面図C	0.1m以上 1.3m以下	

3. 復旧舗装断面と既設舗装断面との間に **成形目地材** を設置すること。
4. 改良済み路線など、舗装構成が標準断面図と異なる場合は、担当者と協議のうえ復旧断面を決定すること。
5. 復旧舗装断面及び掘削深は標準断面図を基本とするが、横断掘削、縦断掘削、既設工作物、施工場所、設置する工作物等の種別及び事業内容により影響部が異なるため、事前に担当者から路面復旧範囲の確認を必ずすること。

道 路 種 別	上段:掘削部分の端から舗装の絶縁線までの距離					
	下段:影響幅					
	道路端部方向			道路横断方向(舗装目地)		
	①=n	②=n+1.2	③	④=n	⑤=n+1.8	⑥
1 級 及 び 2 級 町 道	0.50 以下	1.70 以上	①以上②以下	0.50 以下	2.30 以上	④以上⑤以下
	0.50	0.50	舗装端部まで	0.50	0.50	舗装目地まで
その他町道	0.40 以下	1.60 以上	①以上②以下	0.40 以下	2.20 以上	④以上⑤以下
	0.40	0.40	舗装端部まで	0.40	0.40	舗装目地まで
歩 道	0.10 以下	1.30 以上	①以上②以下			
	0.10	0.10	舗装端部まで			

標準断面図	適用道路種別	k	t (路盤厚)			n	改め
		As	上層	下層	計		
標準断面図A	1級及び2級町道	1.0	0.12	0.40	0.52	0.52	0.50
標準断面図B	その他町道	1.0	0.10	0.30	0.40	0.40	0.40
標準断面図C	歩道	1.0	0.10		0.10	0.10	0.10



2 道路の構造、交通の状況、土質等の関係から前項に規定する部分についての表面仕上げによつては掘削前の構造耐力を保持することが困難であると認められる場合においては、表面仕上げは当該部分に加えて掘削前の構造耐力を保持するため必要な部分について行うものとする。